

# 「契約取引の拡大」で「農業所得の増大」へ 青果物を買取り、多様な取引先に直接販売

## JA全農茨城県本部がVF（ベジタブル・フルーツ）直販事業を実践！

JA全農茨城県本部は、青果物を農家から買取り、加工・業務向けや量販店など多様な取引先に直接販売するVF直販事業で成果を上げています。産地と実需者を結び、計画的な生産・販売ができる契約取引を拡大して、農家の所得向上に貢献する取り組みです。

**平成28年度のVF直販事業の取扱高は204億円（税別）となる見込みで、平成17年度に比べ約2倍に増えています。**青果物は

卸売市場での委託販売が一般的ですが、茨城県本部は平成8年からいち早くVF直販事業に取り組んだ結果、買取販売の割合が2割を占めるまでになりました。

これまで県内3か所にVFステーションを設置。約200社ある取引先への営業拠点としています。取扱品目は、レタス、ハクサイ、キャベツ、甘しょ、ピーマン、ネギ、軟弱野菜、メロンなど様々で、のべ契約面積は1370畝に

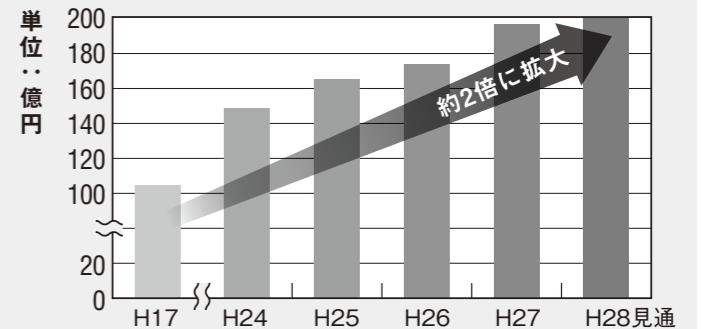
のぼります。取引先と連携し出荷規格の簡素化や効率的な集荷など、コスト低減も図っています。

JAと連携しつつ、集荷は大規模担い手農家や農業法人からも実施。VFステーションは倉庫、パッケージセンター、冷蔵庫、物流の機能を併せ持ち、荷さばきや小分け包装などの包装加工業務の他、冷蔵庫を活用した一時的な出荷調整も行っています。



集出荷施設としての機能を果たすVFステーション

■ VF直販事業取扱高の推移



全農が進める「たくましい農業づくり」をシリーズで紹介します。